【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-29401(P2011-29401A)
【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)
【年通号数】公開・登録公報2011-006
【出願番号】特願2009-173508(P2009-173508)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　21/677　(2006.01)
Ｂ６５Ｇ　49/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　21/68　Ａ
Ｂ６５Ｇ　49/07　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成24年5月18日(2012.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
まず、図４に示すように、無端ベルト２２の吸着区間２２ａを、積み上げられたウエハＷｆの直上に位置させる。吸着区間２２ａがこの位置にあるときは、バキュームボックス２３の複数の孔２３ｂのうち区画室２３１，２３２に設けられたものが、吸着区間２２ａと重なっている。また、このときバルブユニット２７を切り替えることにより、区画室２３１，２３２とポンプ２６とを接続し、区画室２３３とポンプ２６とを遮断する。これとともに、ポンプ２６を駆動させ、区画室２３１，２３２の内圧を負圧とする。ここで、ヒータ４１を駆動することにより、あらかじめ液体Ｌｑの温度を３０～５０℃程度にしておく。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
次いで、ノズル３１からウエハＷｆの端面に向けて所定の吐出圧力で液体Ｌｑを噴出する（図５参照）。ノズル３１からの吐出圧力によって、液体Ｌｑが噴き付けられる部位において、ウエハＷｆどうしの間に液体Ｌｑが侵入する。そうすると、図５に示すように、最上位のウエハＷｆを含む複数枚のウエハＷｆは、互いの間に隙間が生じるように浮き上がる。そして、最上位のウエハＷｆは、無端ベルト２２の吸着区間２２ａ（ウエハ吸着面２２ｃ）に近接する。なお、積み上げられたウエハＷｆの周囲の適所には、ウエハＷｆをその面内方向に垂直な方向に沿って上下動させるためのガイド（図示略）が設けられている。